



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



西日本豪雨災害の教訓をいつも胸に!

西日本豪雨災害から4年目を迎えます。今年は例年になく早い梅雨明け。猛暑の折、熱中症やコロナのほうに意識が向きがちですが、4年前の西日本豪雨災害の教訓を生かし、本年度も既に「土砂災害対応携帯マニュアル」の全家庭配付、自然災害対応マニュアルの再点検、引き渡し訓練等に取り組んだところです。この防災週間(7/4~7/8)には、当時の様子を振り返るとともに1分間の黙祷(7/6)、「呉市防災教育のための手引き」を使った授業の全学級実施、防災食の展示等に取り組むことにしています。

4年前のあの日、いたるところで想像をはるかに超える洪水や土砂崩れが発生しました。「最悪を想定した早め早めの行動」の大切さは分かっていたつもりでしたが、そのことが本当に身に染みました。その後も、災害の爪痕が深すぎて、もとの日常が戻ってこないのではないか思えるような日々が長く続きました。当たり前だと思っていた生活が、実は当たり前ではないということをお互いに助け合うこと、力を合わせることの大切さを実感しました。

7/6は、こういった災害から得た教訓を改めてしっかり胸に刻み込む1日にしたいと思います。

阿賀地区で発生した土石流



他県から給水のために阿賀にかけつけてくださいました。



「呉市災害記録誌」より

防災食の展示(ランチルーム)



寺田エリ子教諭(2-3担任): 入院、療養のため、休みます(7月22日~8月31日)。